

LIXIL ハイグリッドフェンス剣先2型 T-18,T-20

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 剣先部が鋭利なため、商品の取扱いには充分ご注意ください。
- 剣先部が目線より低くなる場所に設置しないでください。転倒時等において事故につながるおそれがあります。
- 高さの切詰めを行わないでください。剣先部が目線より低くなり、事故につながるおそれがあります。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。



注意

- 視覚効果を目的としておりますので、人の侵入防止を保証するものではありません。
- ブロック上へは施工できません。支柱は独立基礎で埋込施工してください。規定以外の施工をした場合、基礎の強度がもたないおそれがあります。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

<施工上のご注意>


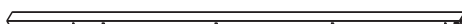


注意


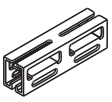
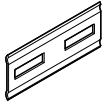
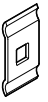
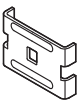
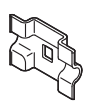






- 支柱の水抜き孔は、モルタル等でふさがらないでください。

■ 梱包明細表





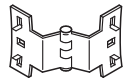






【1】支柱

名 称	略 図	員 数	
		T-18	T-20
T-18		1	—
T-20		—	1

【2】柱取付部品

名 称	略 図	員 数
		T-18・20
M5フックボルト		4
上部ストレート継手		1
下部ストレート継手A		1
下部ストレート継手B		2
本体連結継手A		2
本体連結継手B		2
【2-1】 M6×38角根ボルト		2
【2-2】 M6×22角根ボルト		2
【2-3】 M6×18角根ボルト		2
【2-4】 M6用六角ナット		6
【2-5】 M6用平座金		6
【2-6】 M5フランジナット		4
取付説明書〈C348〉	—	1

【3】コーナー継手

名 称	略 図	員 数
		T-18・20
M5フックボルト		4
上部コーナー継手		1
コーナー中間継手		2
コーナー中間継手B		4
下部コーナー継手A		1
下部コーナー継手B		2
【3-1】 M6×38角根ボルト		2
【3-2】 M6×18角根ボルト		6
【3-3】 M6用六角ナット		8
【3-4】 M6用平座金		8
【3-5】 M5フランジナット		4

1. 姿図および基本寸法図

1-1 T-18・20

※図はT-18を示します。

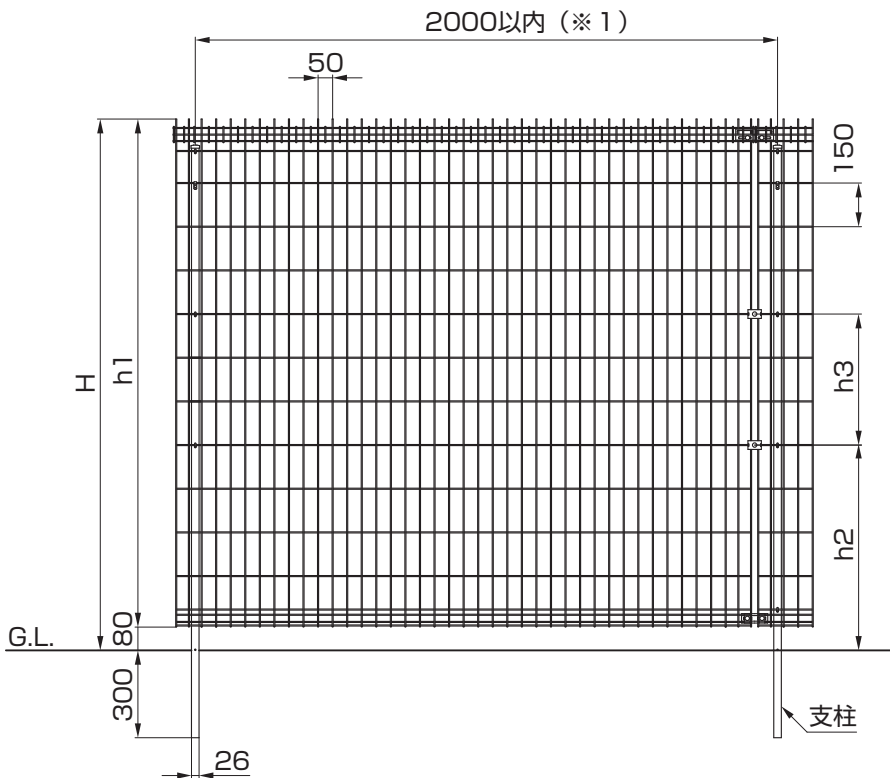


表1-1

呼称	h1	H
T-18	1745	1825
T-20	1945	2025

表1-2

呼称	h2	h3
T-18	705	450
T-20	730	600

表1-3

呼称	基礎W口
T-18	180×180
T-20	250×250

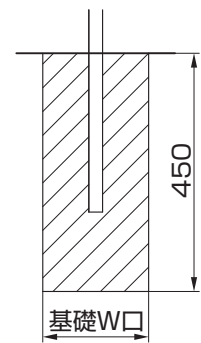


図1-1 基礎寸法参考値

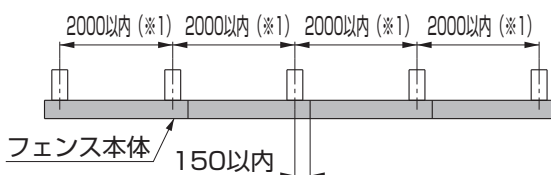


図1-2

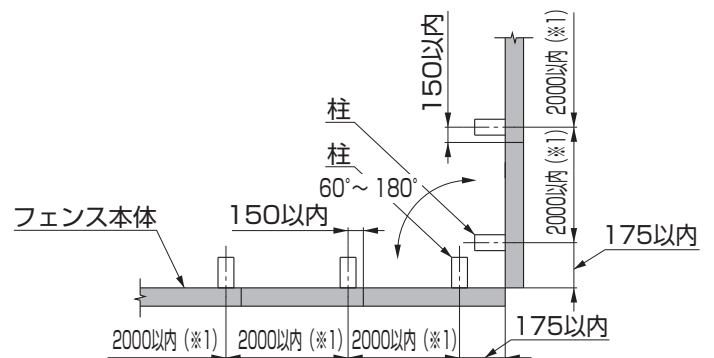
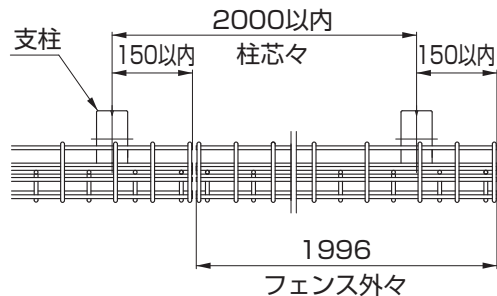


図1-3

ポイント

- 支柱は芯々寸法2000mm以内の間隔で施工してください。(※1)
- コーナー部には必ず柱を2本施工しコーナー継手を使用してください。
- コーナー角度や基礎の大きさの違いによって、コーナー部の柱位置は変わりますが、基礎と基礎が当たらない範囲で施工してください。

2. 柱と本体の取付けおよび本体の連結



- ①支柱を基本ピッチ2000mm以内の間隔で立ててください。端部、コーナー部端部は（図2-1）（図1-3）を参照してください。
- ②支柱の仮止めフックにフェンス本体を引っ掛けてください。

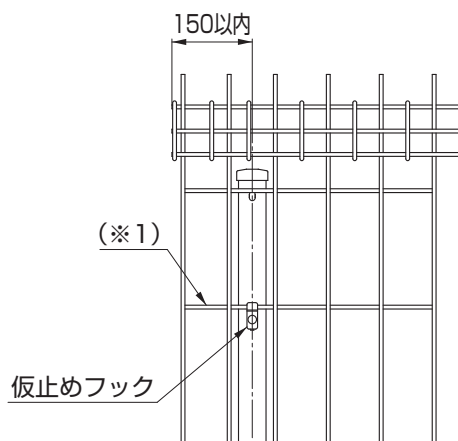


図2-1

ポイント

- 仮止めフックには、上から2本目の横線材（※1）を引っ掛けてください。（図2-1参照）
- フェンス本体パネル縦線材が表側です。（図2-2参照）

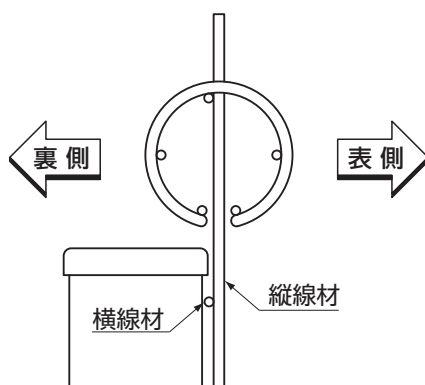
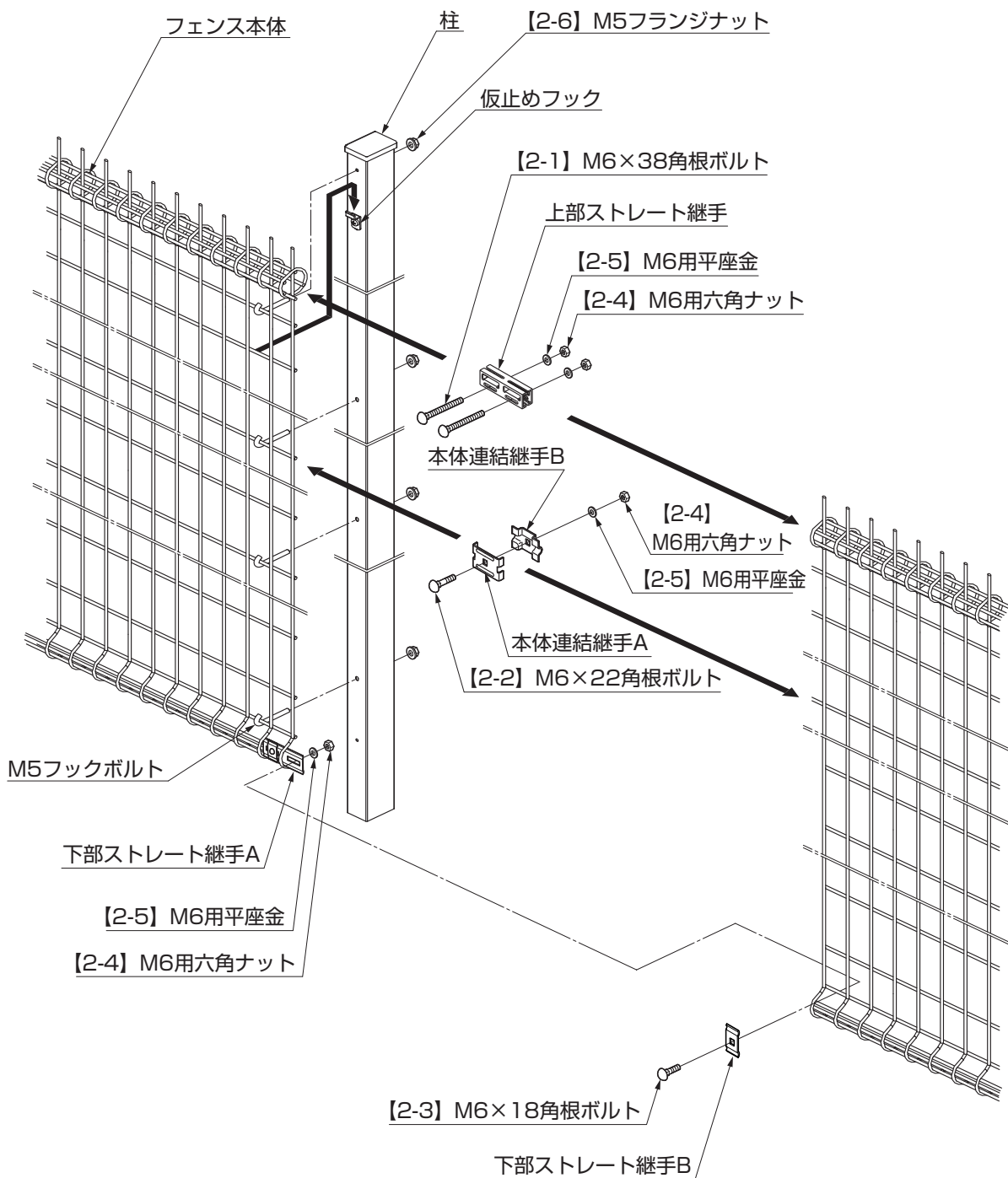


図2-2

2. (つづき)



③フックボルトを柱に通し、【2-6】で仮止めしてください。

2. (つづき)

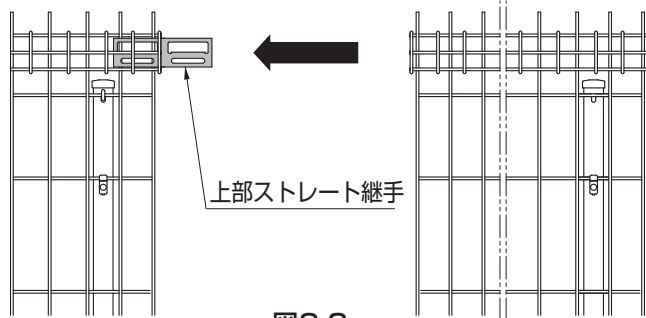


図2-3

ポイント

- フェンス2枚目以降は、上部ストレート継手と仮止めフックを使って仮固定してください。連結施工ができます。(図2-3参照)

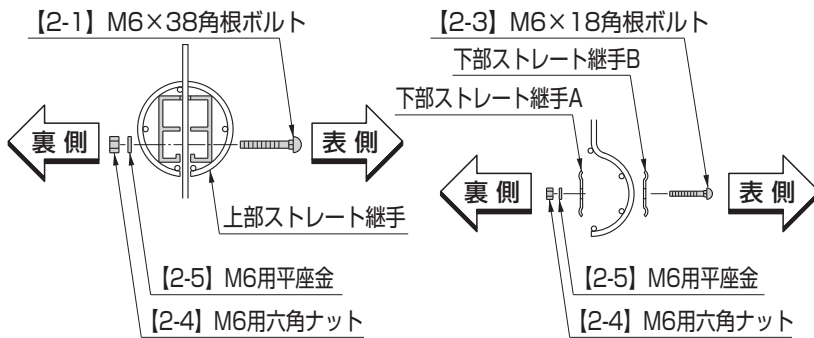


図2-4 上部

図2-5 下部

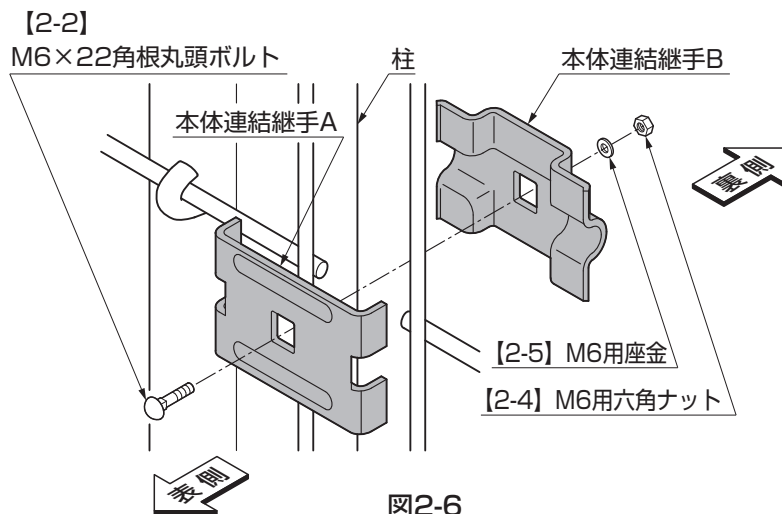


図2-6

ポイント

- ナットは締めすぎないようにしてください。締めすぎると本体連結継手A、本体連結継手Bが変形することがあります。

ポイント

- 本体連結継手A、本体連結継手Bの固定位置は2、3段目のフックボルトをかけた横線材を目安にしてください。(図2-7参照)

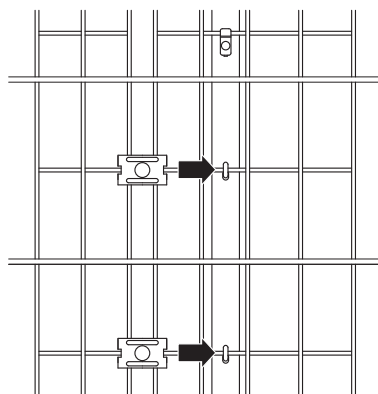


図2-7

ポイント

- フランジナットは締めすぎないようにしてください。締めすぎると支柱が変形することがあります。

- ⑧フェンスの垂直・レベルを出し、柱脚部にモルタルを埋め、硬化・固定してください。

3. コーナー部の取付け

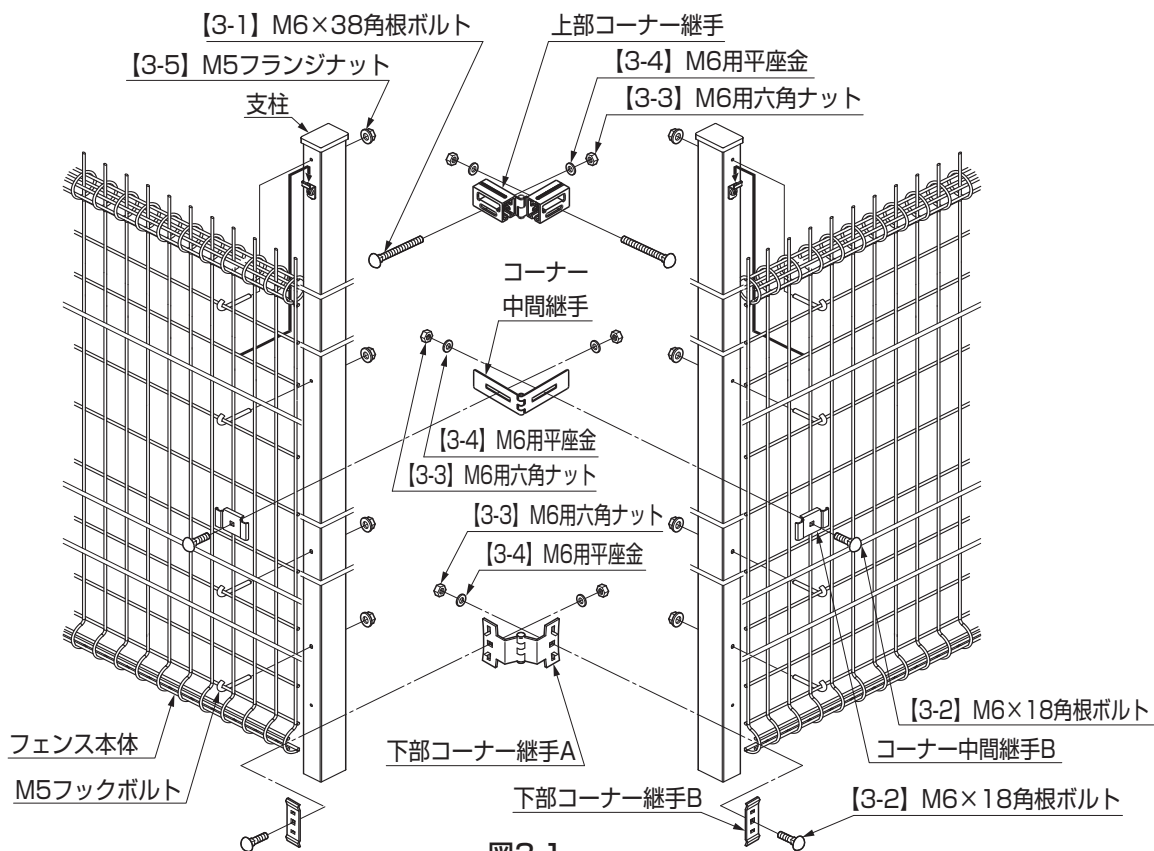


図3-1

① 柱はコーナーを挟んで両側に立ててください。

ポイント

- コーナーの対応角度は60°～180°です。(※1、※2参照)
- コーナー部の連結部は、柱から175mm以内の位置に施工してください。

② 上部コーナー継手を [3-1] [3-3] [3-4] で仮止めしてください。(図3-1参照)

③ コーナー中間継手とコーナー中間継手Bを [3-2] [3-3] [3-4] で仮止めしてください。(図3-1参照)

ポイント

- コーナー中間継手、コーナー中間継手Bの固定位置は2、3段目のフックボルトをかけた横線材を目安にしてください。

④ 下部コーナー継手Aと下部コーナー継手Bを [3-2] [3-3] [3-4] で仮止めしてください。(図3-1参照)

⑤ フェンス本体同士の隙間を上下均等に調整後、フックボルトおよび・ナットをゆるみのないように完全に締め付けてください。

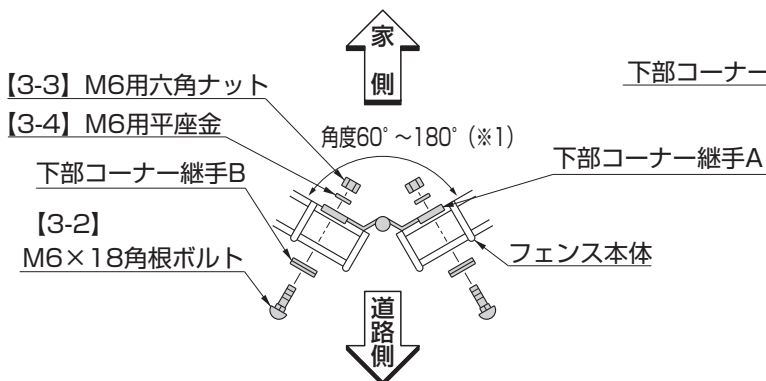


図3-2 出隅施工

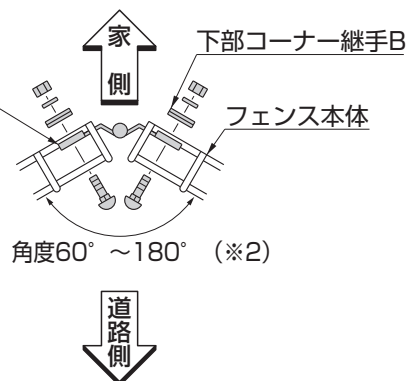
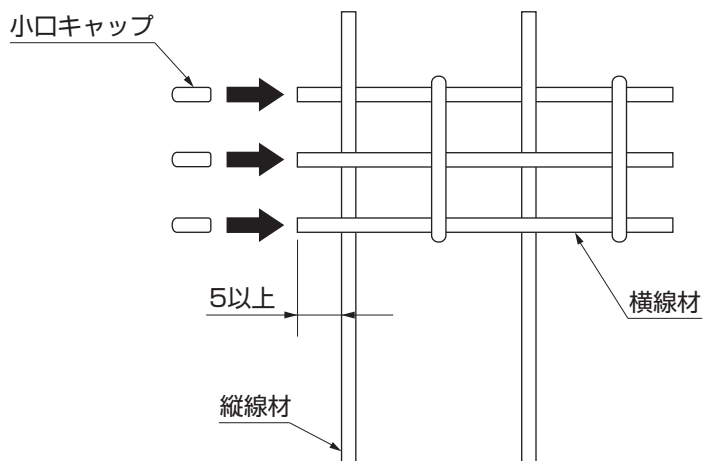


図3-3 入隅施工

⑥ 各コーナー継手は、出隅、入隅で表裏を入れ替えて取付けてください。(図3-2、図3-3参照)

4. 小口キャップの取付け



- ①フェンスを途中で切断する場合は、縦線材より5mm以上横線材を残して切断し、必ず小口キャップを取付けてください。

⚠ 注意

- フェンスを切り詰めした時は、必ず小口キャップを取付けてください。ケガをするおそれがあります。